

令和三年第五回薩摩川内市議会定例会 施政方針等の概要

令和三年第五回市議会定例会の開会に当たり、現時点における諸報告と所信の一端を申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案等の概要を御説明し、議員各位並びに市民の皆様への御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、新型コロナウイルス感染症につきましましては、九月二十日の二百三十六例目を最後に、本市内での新たな感染者の発生は確認されておりません。

このように、いわゆる新型コロナウイルス感染の「第五波」については、危機的状況を乗り越えることができました。感染対策に御理解と御協力をいただいております市民の皆様、また、ワクチン接種に御協力をいただいております医療従事者を始めとする関係者の皆様に対し、改めて心から感謝を申し上げます。

なお、ワクチン接種につきましましては、今月二十一日現在、医療従事者を含む本市の十二歳以上の接種率は、一回目九十・三パーセント、二回目八十八・九パーセントとなっております。

また、今月九日には、新型コロナウイルスワクチン接種調整会議を開催し、十二月からの三回目接種開始について決定していただいたとところであります。そこで、本日から順次、接種券を送付

し、二回接種から八か月経過した希望する方への接種を進めて参ります。

今後は、年末の「第六波」の到来も懸念されていることから、市民の皆様におかれましては、国・県及び市が発する情報に御留意いただくとともに、引き続き、基本的な感染防止対策を徹底してくださいますようお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大により、大きな影響を受けておられます事業者の皆様に対しましては、今月一日から来月二十日までをキャンペーン期間とする、キャッシュレス決済による飲食店の利用促進策や、「地域の商いパワーアップ事業補助金」を活用した川内商工会議所と薩摩川内市商工会による消費喚起策により、可能な限りの支援を行っているところであります。

また、「商店街等にぎわい回復支援事業補助金」を活用し、先月十日には、川内川河川敷で「リバーフロントマルシェ」が、今月二十一日には、高校生がメニューの開発から仕入れ、調理、会計、広報まで行う「高校生食堂」が市内の居酒屋で開催されるなど、商店街や事業者の有志による、にぎわい創出のための懸命な取組が各地で行われています。

引き続き、事業者の皆様的心情にしっかり寄り添い、国・県の動向を踏まえつつ、官民一体となって地域経済回復のための対策

を積極的に進めて参ります。

ところで、全国的に新型コロナウイルスの感染状況が改善されていることから、本市の将来の発展に必要な港湾・道路・河川等に係る大型事業について、国・県に対する要望活動を積極的に展開しております。

重要港湾川内港につきましては、先月十八日、川内港整備促進期成会による活動として、塩田康一鹿児島県知事に対し、川添公貴議長とともに、整備促進と早期完成についての要望を行いました。

また、先月二十一日には、東京都で開催されました「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」に参加し、私も全国の港湾所在自治体の代表の一人として、港湾整備振興に関する意見発表をさせていただき、地域振興につながる港湾の施設整備の促進に向け、地域の港湾を始めとする港湾予算の確保について強く要望いたしました。

このような中、今日五日には、韓国船社の高麗海運により、川内港と釜山港と接続する新たな国際定期コンテナ航路が開設されました。同航路の開設により、川内港の国際定期コンテナ航路は、韓国航路二航路、神戸国際フェーダー航路一航路の三航路、週四便体制となりました。

また、今月十九日には、本年三月の国直轄による「川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業」の新規事業化を祝し、本庁舎への懸垂幕掲揚式を行い、整備促進と早期完成に向けた機運の醸成を図りました。

引き続き、官民一体となつて川内港の利用促進に努めるとともに、国や県との連携を図りながら、整備促進に努めて参ります。

南九州西回り自動車道につきましては、南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設協力会による活動として、先月二十九日に鹿児島国道事務所長に対し、今月四日には九州地方整備局長に対し、阿久根市の西平良将市長を始めとする関係者とともに、整備促進等についての要望を行いました。さらに、今月十五日には、東京都で開催されました南九州西回り自動車道建設促進大会に出席し、沿線の首長等とともに、国及び地元選出の国会議員に対する要望を行いました。

本市においても、年度内に網津トンネルが着工予定でありますことから、引き続き、国土交通省との連携を図りながら、用地の先行取得等を積極的に進めて参ります。

なお、甑島縦貫道につきましても、甑島縦貫道整備促進期成会の活動として、先月十八日、塩田康一鹿児島県知事に対し、甑島地域の代表者等とともに、一般県道手打藺牟田港線（長浜く芦浜

区間）及び一般県道桑之浦里港線（中甕漁港周辺）の整備促進と早期完成について要望を行いました。

川内川改修につきましては、先月二十七日、国土交通省水管理・国土保全局長との意見交換会に出席し、私からは、本市市街地で発生した浸水被害に触れ、内水氾濫対策の充実や、的確な避難指示等の発出を行うために必要な、国土交通省から関係市町への早めの情報提供、国・県及び市町が共同して行う流域治水の取組などについて、意見を述べさせていただきました。

今月十六日には、中華人民共和国常熟市人民政府の秦猛代理市長出席の下、常熟市との友好都市締結三十周年を記念してオンラインによる交流会を開催しました。本市における日中交流は、一九八一年（昭和五十六年）の「日中友好・川内市民の船」訪中事業に始まり、一九八五年（昭和六十年）の第一次日中友好川内市経済調査団による友好都市調査を経て、一九九一年（平成三年）七月に、常熟市と友好都市協定を締結しています。以来、歴代市長を始め、市議会及び関係者の深い御理解と御協力の下、経済、観光、文化、スポーツなど各分野における官民一体となった相互交流により、両市の強い絆が築き上げられて参りました。現在は、川内港から常熟港に木材の輸出も行われております。私自身も、旧川内市企画調整課係長時代に友好都市締結の事務を担当した

こともあり、その後もプライベートも含めて複数回訪中するなど、深い思い入れがございます。今後もこれまでの両市の相互理解と友好関係を礎に、更なる交流・協力の拡大を図り、両市の互惠関係の形成と発展につなげて参ります。

先月十五日と今月十日には、薩摩中央家畜市場で開催されました子牛のせり市を視察し、畜産農家の皆様と意見交換を行いました。来年十月には、鹿児島県では五十二年ぶり、二度目の開催となります「第十二回全国和牛能力共進会」が開催されます。同共進会は「和牛のオリンピック」とも称され、その結果は、鹿児島黒牛のブランド力の向上に大きく寄与します。前回の宮城大会にも勝る成果が得られますことを祈念いたしますとともに、本市の畜産振興に努めて参ります。

また、今月二十八日には、いよいよ「二〇二一かごしまお茶まつり in 薩摩川内」が開催されます。本年三月に農林水産省が公表した、令和元年の茶産出額で、鹿児島県が初めて全国一位になるなど勢いがある中で、本イベントが本市において開催されることを大変嬉しく思っているところであり、川内川流域の霧深い気象条件を活かして本市で生産された、香り豊かなお茶の魅力を積極的にアピールして参ります。

なお、今月十三日、出水市の養鶏場において、高病原性鳥イン

フルエンザの疑似患畜が確認されたことから、鹿児島県は、国の指針に基づき、同養鶏場の飼養鶏約三万八千五百羽の殺処分を行いました。翌十四日には、同市で二例目が確認されました。

本件については、鹿児島県からの要請を受け、本市からもいち早く職員を二十四時間体制で派遣し、消毒ポイントでの業務支援を行っているところであります。

本市におきましても、出水市における発生情報を受け、即座に三役と関係部課長による協議を行い、農林水産部長を本部長とする「薩摩川内市家畜伝染病警戒本部」の設置を指示し、市内養鶏農家や市民への注意喚起を図るとともに、消石灰の無償配布や公共施設への消毒マットの設置等を行っているところであります。

今後、カモ等の野鳥の飛来が増加する時期を迎えますことから、関係機関と緊密に連携しながら防疫対策に取り組んで参ります。

今月九日、イタックス株式会社と事業所増設に係る立地協定を締結いたしました。同社は、本年二月から入来工業団地において、飼料の保管や運搬等に使用するフレキシブルコンテナバックを回収・洗浄・補修して再利用する事業を行っていますが、新たに仕分や保管を行うための倉庫を建設し、併せて五名の新規雇用を予定しているとのことであり、引き続き、企業誘致を積極的に進めて参ります。

今月一日から二十一日まで、デンソー女子陸上長距離部の合宿を受け入れ、二日には、歓迎式を行いました。本市での合宿は八回目となります。

今月十三日と十四日には、サンアリーナせんだいで、Vリーグ女子公式戦「久光スプリングス対KUROBEアクアフェアリーズ」が開催されました。本市での公式戦開催は十年ぶりとのことであります。

また、先月十三日には、甌ハーフマラソンコースが日本陸上競技連盟の公認コースに認定されました。同コースには甌大橋が含まれており、来年度から「甌マラソン大会」は、公認コースでの開催となります。

これまで長年にわたり「甌大明神マラソン大会」の運営に御協力いただきおりました関係者の皆様の御尽力の賜物であり、改めて深く感謝を申し上げます。

先月三十一日、閉校しました陽成小学校がスポーツ練習拠点「PLAY SPACE YOZEI」として改修され、開所式が行われました。体育館は野球やフットサル等の室内練習施設に、また、プールはバーベキュー等ができるイベントスペースに改修されております。関係者の皆様の御尽力に感謝を申し上げます。

今月七日には、eスポーツイベント「KAGOSHIMA

GAMERS・FLAG」が、鹿児島県eスポーツ連合等の主催により、SSプラザせんだいで開催されました。同イベントでは、eスポーツ大会やゲーム体験、プログラミング教室などが行われ、参加者にも大変好評であったと伺っております。

本市が有する施設や環境などのポテンシャルを活かし、また、eスポーツのように将来性ある新しい分野にも着目しながら、アフターコロナにおけるスポーツ振興、交流人口の拡大に積極的に努めて参る所存であります。

今月六日、入来町で、文化庁と日本芸能実演家団体協議会の主催により、「NOBODY KNOWS 二〇二二 薩摩川内」が開催されました。昨年に引き続き二回目の開催で、当初は旧増田家住宅を会場に実施される予定でしたが、悪天候のため、入来小学校体育館での開催となりました。同イベントでは、薩摩琵琶、尺八、日本舞踊による伝統芸能のほか、地元の小学生との共演や、郷土芸能である入来神舞との共演も披露されました。琵琶奏者の友吉鶴心氏によりますと、かつて入来町で製作された薩摩琵琶の評価が大変高いとのこと、本市の文化的ポテンシャルの高さを改めて強く認識させられたところであります。

今月二十八日には、薩摩川内市文化協会主催の文化祭「秋麗の宴」が開催される予定であり、その中で、津軽三味線奏者である

福居一大氏への薩摩川内観光大使の委嘱状交付式を行います。同協会のモットーは「文化は人をつくる。文化は地域をつくる。文化は街をつくる。そして文化は歴史を創る。」であると伺っております。引き続き、関係者の皆様の御理解と御協力をいただきながら、本市の文化振興を着実に推進して参ります。

SDGs（持続可能な開発目標）に関しましては、先月二十四日、昨年十二月に本市と川内青年会議所が署名いたしました「SDGsタイアップ宣言」に基づくタイアップ事業として、同会議所主催の「SDGsフェス」が開催されました。

また、今月十二日には、同会議所創立五十周年記念講演・記念式典が開催され、私もトークセッションにおいて、本市の考え方や取組内容及び実施体制について話をさせていただきました。今後も様々な関係者との連携を積極的に図り、各般の事業を展開して参りたいと考えております。

なお、今月一日から、男女共同参画センターを始めとする公共施設十一箇所において、様々な理由で生理用品を用意できず、困難や不安を抱えた方に無償配布するとともに、相談支援を行う取組を開始したところであります。

広聴・広報につきましては、今月十一日に、市内の花き、果樹、野菜、工芸の各農業経営者と「農業の担い手育成・確保について」

をテーマに、第五回令和デザイントークを開催いたしました。参加者からは、収穫時期等の季節的な人手不足、安定的な販路確保や事業継承における課題など、様々な御意見をいただきました。若い経営者の皆様が、コロナ禍を克服するため、新たな取組への挑戦を続ける姿に、私も強い感銘を受けたところであります。今後、施策としての具体的な事業を検討して参ります。

また、各地区コミュニティの皆様と市長が意見交換を行う「令和コミュニティトーク」につきましては、今月十七日に第一回目を甌島区域で開催し、地区振興計画の振り返りによる自助・共助の活動報告の後、提出議題やフリートークでの意見交換を行いました。今後も、順次、各中学校区単位で開催して参ります。

なお、先月十二日には川内商工高等学校の二年生七人に、十五日には川内高等学校の一、二年生全員に、「薩摩川内市みらいアドバイザー」を委嘱しました。持続可能で魅力的なまちづくりを推進するため、未来を担う若者の意見や提案についても参考にしたいと存じます。

先月十六日、「青少年育成の日のつどい」及び「子ども会大会」を開催いたしました。毎月第三土曜日は、青少年の育成活動及び非行防止活動を推進する「青少年育成の日」であります。引き続き、地域の皆様とともに、青少年の健全育成に取り組んで参り

ます。

先月十四日、九州電力株式会社が、川内原子力発電所一、二号機について、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づく運転期間延長の認可申請に必要な特別点検を実施すると発表しました。このような状況を受け、私は、九州電力株式会社に対して積極的な情報公開を求めるとともに、同月十八日には、市の重要事項を検討する「政策会議」の下部組織として「原子力政策調査部会」の設置を決定したところであります。部長級職員で構成する同部会においては、まずは、国のエネルギー基本計画や特別点検等についての調査を行い、政策会議に報告させる予定であります。

組織機構見直しにつきましては、十月の甕島振興局の設置及び支所管内を担当する次長職の配置に続き、来年四月を見据えた部局の再編に取り組みます。これは、政策実現性の向上、組織・業務の最適化、市役所サービスの充実及び令和七年度を初年度とする第三次薩摩川内市総合計画の策定体制の拡充を目指すものであり、今定例会で関係条例の改正について御審議をお願いしております。

次に、補正予算案について御説明いたします。

今回の補正予算案については、一般会計において十五億四千

六百五十七万九千円、八特別会計において一億四千八百七十万
一千円の増額補正を、また、下水道事業会計において増額補正を
提案したものであります。

一般会計につきましては、歳入において、地方交付税等を交付
額の決定により増額し、歳出において、新型コロナウイルス感染
症対策に係る経費を増額するとともに、市民生活の安全・安心を
確保するための道路維持補修事業等に係る経費を増額しており
ます。そのほか、国県補助金の内示、事業費の確定又は執行見込
みによる歳入歳出予算の増減を行っております。

各特別会計等につきましては、執行見込み等により所要の経費
の増減を行っております。

今定例会におきましては、補正予算案のほか、薩摩川内市個人
情報保護条例の一部を改正する条例案を始めとする各議案につ
いて御審議をお願いしております。

提案いたしました各議案の細部につきましては、主管部・課長
から説明させますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い
申し上げます。

最後に、今日七日で、薩摩川内市長就任から一年が経過いたし
ました。引き続き、私自身も含め、職員とともに、市民に寄り添
い、その声に真摯に耳を傾け、対話をしていく行動を実践して参

ります。

また、市議会の皆様との政策議論を通じて「薩摩川内の未来創生」を着実に実現して参る所存でありますので、何とぞよろしく
お願い申し上げます。